

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

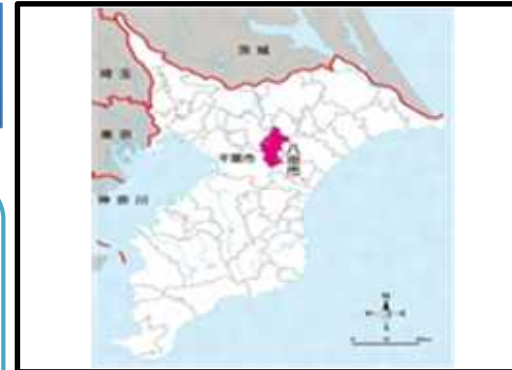
①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社	<p>コミュニティバス「ふれあいバス」 系統: 市街地循環コース(13.9km) 北コース(30.9km) 旧北コース(28.7km) 東コース(26.7km) ※系統kmはコースにおける最小値</p> <p>運行回数: 12回/日(市街地) 9回/日(北) 7回/日(旧北) 7回/日(東)</p> <p>運賃:200円</p> <p>※旧北・東コースについては令和3年10月の再編により終了</p>	利用者向けマップや時刻表については、お店(目的地)で掲示するまたは配付するなど、利用者の気を引くような仕掛け、工夫に心がけていただきたいとの評価結果を受け、大規模商業施設での公共交通マップの設置を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された	C <p>指標①ふれあいバス年間利用者数を86,000人 実績:80,980人 前年度年間利用者数と比較し7,259人の増加であったが目標値に至らなかった。新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少したことが一因と推測される。</p> <p>指標②公共交通に係る市の年間財政負担額を52,201千円 実績:54,090千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、運航継続が困難となった民間バス路線である「八街循環線」へ4,000千円の補助を実施したことにより増となった。</p>	令和3年10月に実施したふれあいバスの運行ルート及びダイヤの見直しにより新たに設置した商業施設等への利用者数も多く、目標値には達しなかったものの、年間利用者数の増加に繋がった。令和5年10月よりデマンド交通の実証運行を予定しているため、引き続き乗降調査等を実施し、利用状況の分析を行い、正確なニーズ把握を行うことで利用促進を図りたい。
ちばフラワーバス株式会社	<p>コミュニティバス「ふれあいバス」 系統: 西コース(40.9km) 南コース(32.3km) ※系統kmはコースにおける最小値</p> <p>運行回数: 8回/日(西) 9回/日(南)</p> <p>運賃:200円</p> <p>※南コースについては、補助対象外であるが、包括的な目標設定をしているため、ふれあいバス全体としての評価を記載しています。</p>				

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	八街市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>八街市は、非線引き地域であることから、公共交通を含む都市基盤整備が進んでいない郊外型のミニ開発を中心に人口が増加してきたという経緯があり、本市の公共交通は、自動車を運転できない高齢者や子供といったいわゆる交通弱者、特に郊外に住む交通弱者にとって、日常生活を送る上での重要な役割を担っている。本市は現在、コミュニティバスである八街市内循環バス(愛称ふれあいバス)の運行委託や民間路線バスへの運行補助などを実施しており、財政負担も大きい状況にあるが、今後も上昇が予想される高齢化率を踏まえれば、公共交通の重要性はますます高まっていくものと考えられる。</p> <p>このような状況において、本市の生活交通ネットワークを確保するためには、ふれあいバス、民間路線バス、タクシー、鉄道など、それぞれがもつ運行特性や役割に基づき、相互に補完しあうことが必要であり、特にふれあいバスについては、地域の生活を支え、公共交通空白地域の解消を担う支線路線の役割として定着していることから、今後も地域内フィーダー系統として安定的な確保維持をしていくことが必要である。</p>

令和4年度 八街市地域公共交通活性化協議会（千葉県八街市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）



地域の公共交通等の現況・課題

八街駅と榎戸駅を結ぶJR総武本線、3事業者による民間路線バス4路線がJR八街駅を発着しているほか、タクシー事業者2社が市内に営業所を構えている。また、コミュニティバス(愛称:ふれあいバス)も運行しており、令和3年5月に八街市地域公共交通計画を策定し、この計画に基づき、10月に一部路線の見直し及びダイヤの改正を行ったところである。

交通不便地域の解消や公共交通が不便なことを要因とする人口流出がないようにすること、また、今後さらに進む高齢化社会に対応した公共交通サービスの確保・維持が必要である。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

八街市における地域公共交通の将来像である『日常生活の「お出かけ」を支える公共交通サービスによるまちづくりの実現』を目指し、「まちづくりと連携した地域をつなぐ公共交通ネットワークの構築」、「公共交通機関相互の連携による誰もが利用できる環境整備の推進」、「多様な主体の連携による持続可能な公共交通の構築」を基本方針としている。

定性的な目標として、「各交通モードの機能・役割の明確化」、「公共交通機関の強化による市民の外出機会の創出」、「利用しやすい公共交通環境の整備」、「分かりやすい公共交通の実現」、「地域全体で支える持続可能な公共交通の構築」を掲げている。

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

市街地循環コース・北コース・西コース・南コースの4コースからなるふれあいバスを「地域内フィーダー系統」として運行し、市民の生活の足となる路線の安定的な維持確保を行った。

令和3年10月に実施したふれあいバスの一部路線の見直し及びダイヤの改正後の利用状況等を把握するために乗降調査と再編前後年間比較調査を実施した。

バスの利用促進やこころのバリアフリーを育むことを目的として、市内小学校の児童を対象に、「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」を実施した。

アピールポイント

毎年、市内小学校の児童を対象に実施している「バスの乗り方・交通バリアフリー教室」については、教育委員会や小学校、社会福祉協議会、バス事業者等の協力を得て実施している協働事業であり、モビリティマネジメントの観点からも有効な事業だと捉えている。児童達からも好評であるため、今後も引き続き実施していく。

面積	74.94 km ²
人口 (R4.4.1時点)	67,461人
15歳未満	6,066人
65歳以上	21,613人
高齢化率	32%

交通計画の計画期間

令和3年5月～

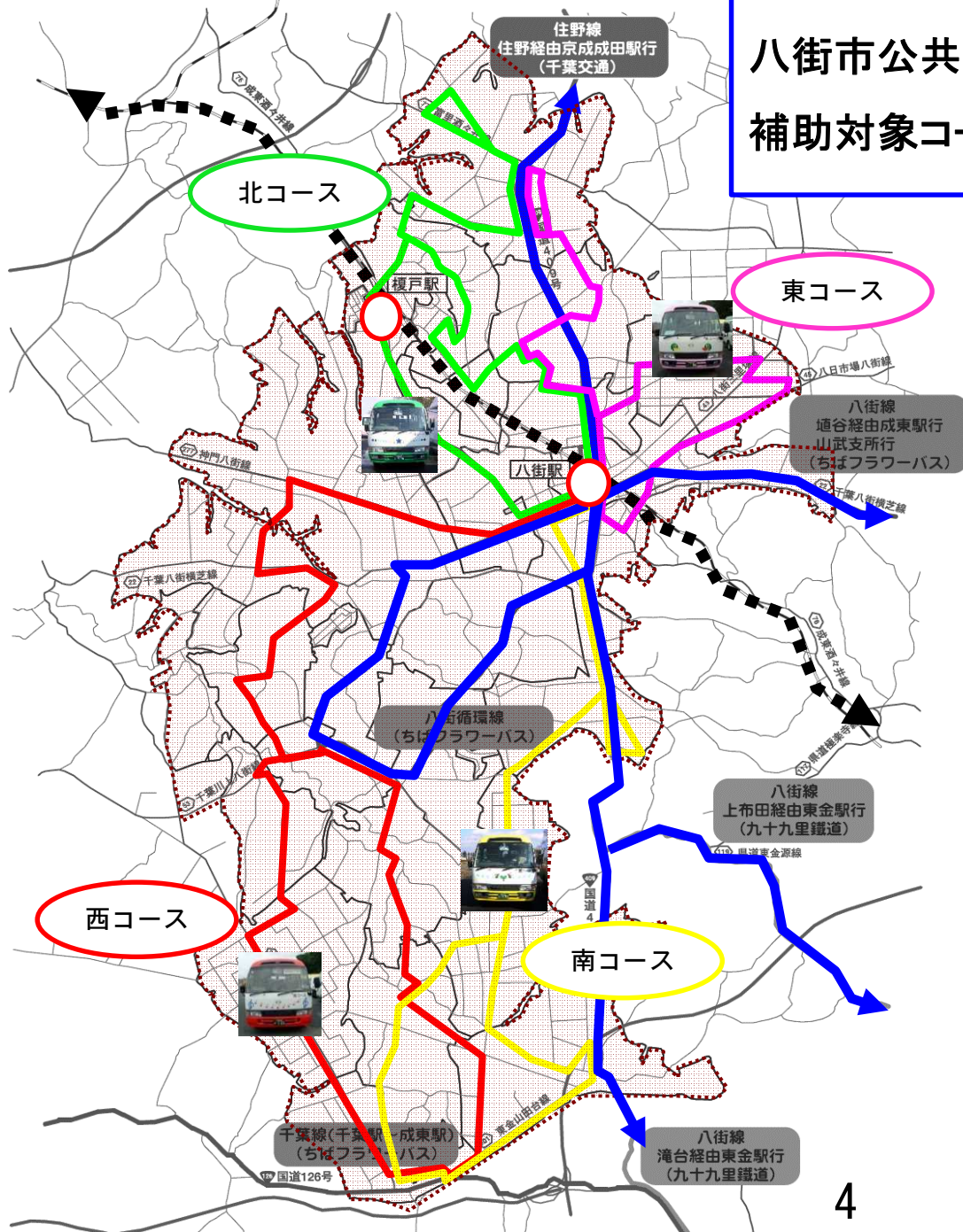
令和8年3月

協議会開催状況

(令和4事業年度に係るもの)
・別紙参照

八街市公共交通体系図(～令和3年10月3日)

補助対象コース: 北コース・東コース・西コース



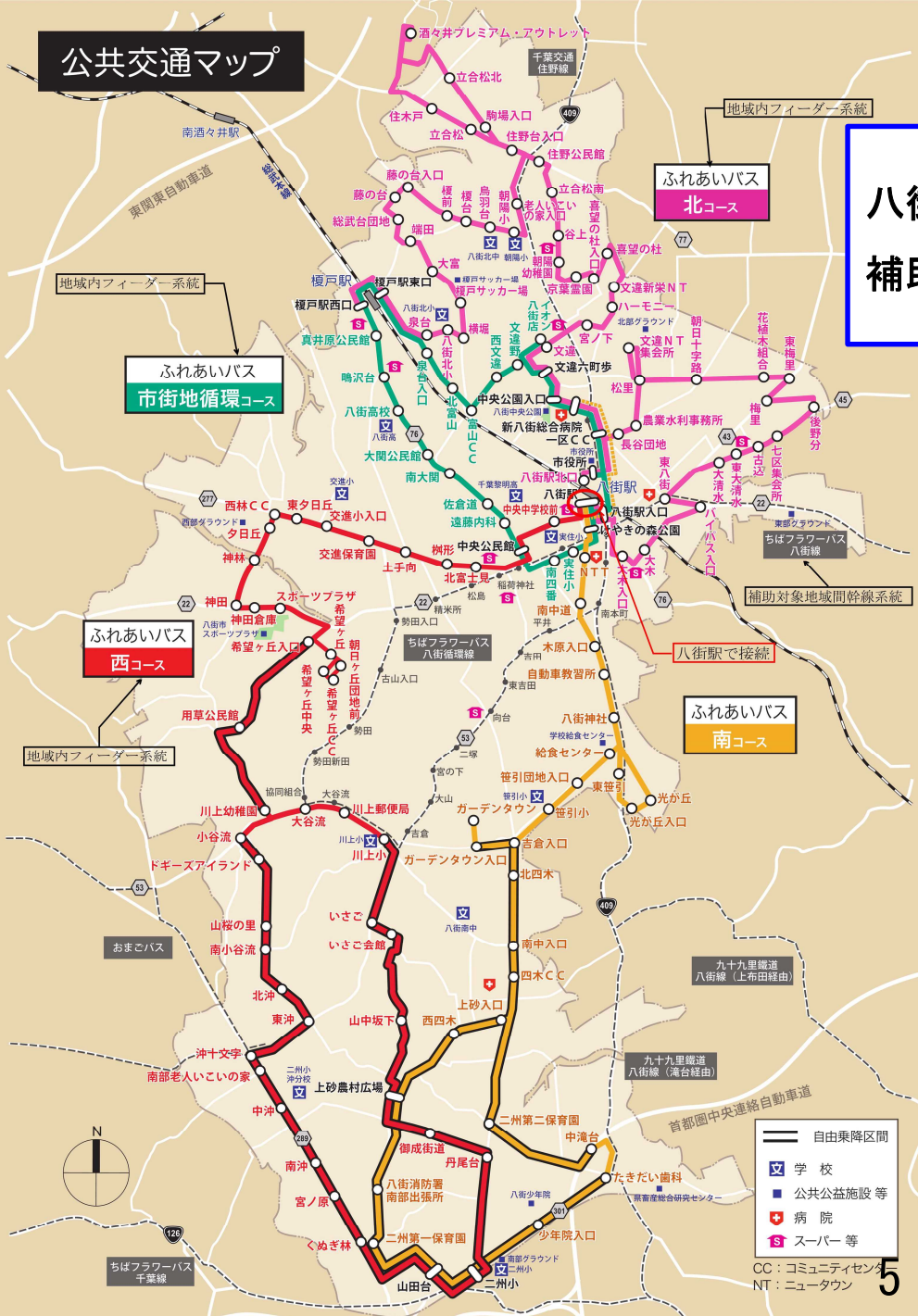
【各路線について】

- JR 総武本線
- 民間路線バス
- コミュニティバス (ふれあいバス)
- 交通結節点(乗り継ぎ拠点)

公共交通マップ

八街市公共交通体系図(令和3年10月4日～)

補助対象コース: 市街地循環コース・北コース・西コース



- 自由乗降区間
 - 学校
 - 公共施設等
 - 病院
 - スーパー等
- CC: コミュニティセンター
NT: ニュータウン

単位：人

令和4年度ふれあいバス乗車人数実績推移（補助対象事業期間：R3.10～R4.9）

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

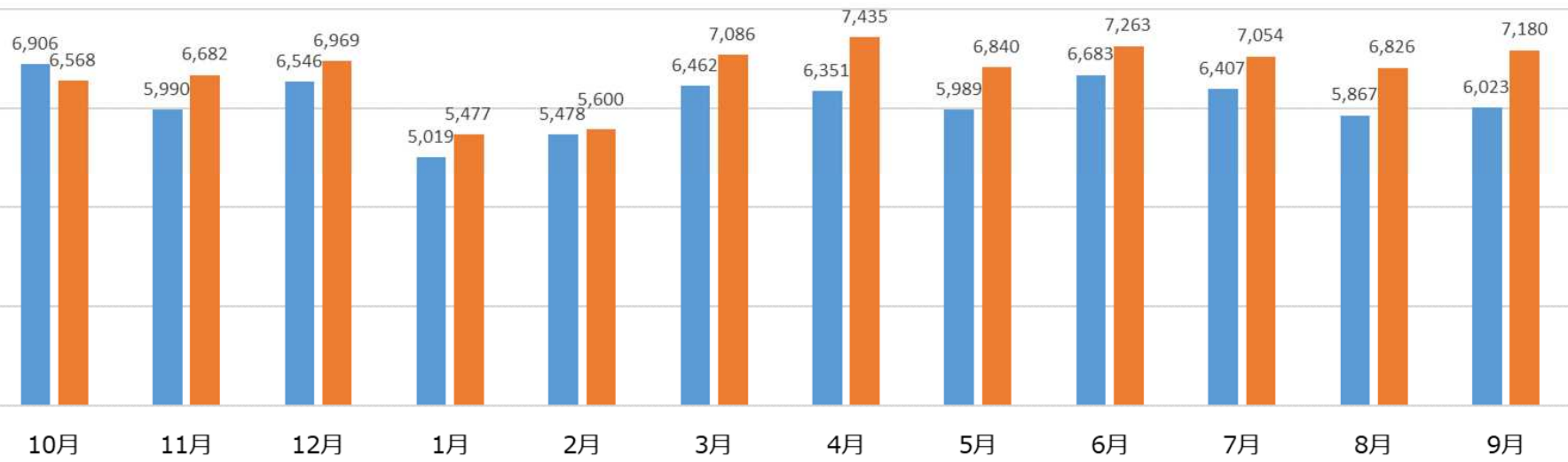
6月

7月

8月

9月

■ 前年度 ■ 今年度



◆(令和3年度)

第2回 令和3年6月17日

議 題

- (1) ふれあいバス路線の見直しについて
- (2) 令和4年度地域内フィーダー系統補助にかかる地域公共交通計画認定申請について

第3回 令和3年12月24日(書面開催)

議 題

- (1) 令和3年度(令和2年10月-令和3年9月)地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の事業評価について

第4回 令和4年2月25日(書面開催)

議 題

- (1) 令和4年度八街市地域公共交通協議会事業計画(案)について
- (2) 令和4年度八街市地域公共交通協議会歳入歳出予算(案)について
- (3) 八街市地域公共交通計画の令和3年度実施事業の評価について

◆(令和4年度)

第1回 令和4年6月13日

議題

- (1) 人事異動に伴う八街市地域公共交通協議会会長の選任について
- (2) 令和3年度事業報告及び令和3年度歳入歳出決算の認定について
- (3) 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請について

報告

- (1) 新たな公共交通システムの導入に向けた基本方針について
- (2) 富里市のデマンド交通について

第2回 令和4年8月12日(書面開催)

議題

- (1) 八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業計画(案)について

第3回 令和4年12月26日

議題

- (1) 任期満了に伴う八街市地域公共交通協議会会長の選任について
- (2) 令和4年度(令和3年10月-令和4年9月)地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価について
- (3) 来年度ふれあいバス運行事業について

報告

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金の取扱について
- (2) ふれあいバス再編前後比較調査について
- (3) バスの乗り方・交通バリアフリー教室の開催について